

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小池特別支援学校改築工事(第2期)	階数	地上3F
建設地	北九州市若松区小敷583番1	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし	平均居住人員	225 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2021年10月13日
敷地面積	27,420 m ²	作成者	中田 敦
建築面積	1,791 m ²	確認日	2021年10月18日
延床面積	4,705 m ²	確認者	山田 祥子



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 88%

③上記+②以外の 88%

④上記+ 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 既存地盤レベルを活かした計画としている。 配置の工夫によって、前面道路向かいの近隣住宅地に配慮した計画としている。		その他 0
Q1 室内環境 屋光の利用に配慮した計画としている。教室間壁壁は遮音性能を考慮しボードの両面2重張りとする。	Q2 サービス性能 バリアフリー新法建築物移動円滑化基準を満たしている。 防災貯留トイレシステムの配置、耐用年数に配慮した仕様の選定を行っている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地外の空地を確保している。緑地の確保や建物の配置の工夫により、景観に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー モデル建物法による評価により今回新築部分はBEI=0.74。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器やO Aフロアなど環境や資源の再利用に配慮した計画としている。	LR3 敷地外環境 グラウンドは校舎に遮られ、砂塵の近隣への影響に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される